

募集中です！

2020



愛媛県立図書館 子ども読書支援センターからお知らせ

「授業 DE ブックトーク」しませんか？

学習活動の中にブックトークを位置付けることで、子どもたちの読書への意欲が高まるだけでなく、学習内容を深め広げることができます。言語活動の充実にもつながる「授業 DE ブックトーク」を、学校で実施しませんか？
開催校を募集します！！

★ 申込について

実施は、9月1日（火）以降今年度内となります。別紙申込書に学年・教科・内容・希望日時等をご記入の上、FAXでお送りください。締切りは7月31日（金）とします。実施校は5校程度の予定です。申し込み多数の場合は今年度の実施はお断りすることがありますので、ご了承ください。

実施対象は、小学校3年生以上ですが、小学校の小規模校等では、複数学年や全校（1, 2年生を含む）を対象に実施することも可能です。

★ 「授業 DE ブックトーク」とは

ブックトークとは、テーマに沿って何冊かの本を選び、つながりを持たせながら本を紹介していくものです。テーマを工夫することで、いろいろな教科の学習で実施できます。また、読み物だけでなく絵本や写真絵本、図鑑や紙芝居などいろいろなジャンルのものを紹介できるので、子どもの興味関心をより高め、学習活動を活発にしたり、図書館利用を促したりすることも期待できます。

「授業 DE ブックトーク」では、学習のねらいに即したブックトークを目指しています。先生方からお聞きした単元の流れや授業のねらい等をもとに、県立図書館職員がブックトークを行います。実施の際には、ぜひ他の先生方にもご参観いただき、ブックトークを他の授業等でも実践していただければと思っています。

★ たとえばこのような実践が可能です

- ① 単元の始め DE ブックトーク…興味関心を高めたり学習の方向づけをしたりする
社会科→「昔の暮らし」の学習で、昔の生活や遊びなどに関する本
理科→「土地のつくり」の学習で、地球のつくりや石・化石の本
総合→福祉に関する学習で、障がいがある人の話や点字や手話の本
- ② 単元の途中 DE ブックトーク…学習内容を深める
国語科→椋鳩十や宮沢賢治など、教科書で取り上げられた作家の本
生活科→生き物の世話をするとともに、いろいろな生き物の飼育方法の本
- ③ 単元の終わり DE ブックトーク…学習をまとめたり今後への意欲を持たせたりする
国語科→戦争の読み物の学習で、戦争や平和に関する本
社会科→歴史の学習で、学習した人物に関する本
総合→国際理解の学習で、外国の人々の暮らしや昔話に関する本

※以上は小学校での例です。中学校や高等学校等でも、また他のいろいろな教科・領域でもブックトークが可能です。

★ 使用した本の貸出・返却について

ブックトークに使用した本は、1か月お貸ししますので、学習に活用できます。
返送は、松山市外の学校は遠隔地返却で地元の図書館等に返却していただき、松山市内の学校は県立図書館にご返却ください。
また、他に必要な本がありましたら、合わせてお借りいただけます。

★ 実施費用について

講師謝礼は不要です。県立図書館と学校間の職員1名分の旅費（自家用車）のみご負担ください。



実施に関する
お問い合わせは、
右連絡先まで
お気軽にどうぞ。



〒790-0007
愛媛県松山市堀之内
Tel：089-941-1441（代表）
Fax：089-941-1454
担当：読書振興グループ
高藤・石川